



農 委 だ よ り  
**常 総**

平成25年8月1日発行  
**第 15 号**

〒303-8501  
 茨城県常総市水海道諏訪町3222-3  
 電話 0297-23-2111(代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



平成3年当時



平成24年

**大型機械による除草で不法投棄が激減** (除草作業の今昔)

菅生沼土地改良区(倉持泰仍理事長)は、茨城、千葉県にまたがり、常総、守谷、坂東、野田市の4自治体の接点にあたり、さらには警察署も常総、取手、境、野田の4警察署の管轄にまたがる地域にあり不法投棄などの悪事にはこの上ない絶好の盲点である。

地元の農業委員と土地改良区役員の合議の末、組合員高齢化による出役者不足もあり廃棄物の処理や取締りなどの守りの繰り返しよりも、「捨てられない環境づくりが大事」と攻めに転じ、行政の力も借り耕作放棄地の絶滅と合わせて、近年は美しい水土里づくり事業も取り入れ、全域を見通しがきくように徹底した除草作業を行い、今や地元農業委員会で不法投棄パトロールに回っても耕作地範囲内の投棄物はほとんど見当たらなくなった。ちなみに耕作放棄地はゼロである。

倉 倉 鈴 横 橋 古 秋 石 川 和 山 倉 門 菊 坂 内 岡 松 増 相 田 菊 渡 中 喜  
 野 見  
 持 金 木 島 本 谷 田 塚 田 田 井 持 井 地 入 海 野 崎 田 山 村 田 辺 荃 山  
 創 一 将 文 武 ミ 文 寛 静 喜 泰 義 浩 孝 信 と 匡 政 勝 一  
 子 太 し  
 一 廣 之 雄 夫 子 男 一 枝 勇 仁 仍 貢 男 武 之 一 郎 亮 子 史 光 一 秀 明

暑中お見舞い  
 申し上げます  
 農業委員  
 (議席順)

# 地域の担い手

飯沼地区

井上 真晴 さん

我が家は専業農家として契約白菜を中心にキャベツ・ネギを生産しています。

私は東日本大震災発生の二日前に就農し、県産品が風評被害で価格低迷の影響を一部から受けたことで農業の厳しさを知りました。

しかしながら、地元では主産地らしく生産技術の指導体制や生産物の出荷体制が整備され、父もUターン就農に対して先見の明から農機具への設備投資も終えており、労働



力では研修生を三名受け入れて計七名で作業効率化に取組んでいます。この恵まれた環境からスタートが出来たことで、日頃から機械の修繕費削減を意識しています。

日常的に決まっている作業の繰り返しだけではなく、収量も変動する作物栽培に面白さを感じ、新しい知識習得のために石下地区でも農業後継者の会で若い世代同士の交流会や研修会への参加も行いながら、日々の勉強不足を補っている状況で、将来は自分なりの経営に挑戦していきたいです。

地域の担い手としてはまだまだ未熟者ですが経験を積んで一生勉強の精神で農業の役に立てればと思います。

## 紹介農業委員



菊地 義男 委員

就農して、双子の子供も生まれ、両親、実習生と共に契約栽培に励んでおり、又、IFCの

メンバーとしても頑張っている井上さんです。

# 消費者として思う

坂手地区

染谷 美智子 さん

「食の安全とは？」

私は会社勤めの傍ら、休日には自家用菜園で様々な野菜を作っております。

無農薬で作った野菜は娘達に届け、孫達にも安心して食べさせることが出来ると、喜ばれております。

しかし昨今、TPPをめぐりメディアを通じて様々な情報が飛び交い、多くの消費者に不安を抱かせております。TPPの導入により、これ



まで日本では禁止されている添加物や、残留農薬の基準が日本の倍もある品々を食することとなり、「食の安全」とは何だろうと思うことがあります。

未来の日本を担う子供達が、元気に明るく生きる為に必要な「食」を、安全で、より健康を守るためのものでなければならぬと思います。

今一度原点にもどり、考える必要がある課題なのかなって思いつつ、「ジイジとバアバの作った野菜、おいしいね」という孫たちの言葉を励みに、汗を流して畑仕事をしている今日この頃です。

## 紹介農業委員



岡野 孝一 委員

訪問した時何をするのですかと聞いたところ、今日はナス・トマトを植えようと思っていましてと答えられました。いつも食の安全を考えている染谷さんです。

# 新任農業委員の紹介

中 莖 一 秀 委員

(共済組合推薦委員)

草間委員の後任として、今年4月1日、中莖一秀氏が就任しました。

中莖委員は、平成8年から4期12年にわたり公選委員として農業委員を経験し、この度、共済組合推薦委員として再び農業委員になりました。

# 耕作放棄地支援事業は平成25年度で終了

平成21年度から実施されてきました耕作放棄地対策支援事業が、平成25年度で終了となります。つきましては、荒廃した農地(耕作放棄地等)を活用しようと思っている方は助成の対象となりますので、ぜひこの機会をご利用ください。なお、詳しくは農業委員事務局までご相談ください。



支柱による太陽光発電施設の農地転用について

ソーラーシェアリング

近年、農地に支柱を立てて、営農を継続しながら上部空間に太陽光発電施設を設置する技術（ソーラーシェアリング）が開発されました。このような発電施設（営農型発電施設）は、パネルの下部にて営農を前提とし、農産物等に支障がないとの理由から農地法の転用は必要ないとの考え方がありますが、農林水産省では農地法の一時転用許可が必要と判断しました。一時転用期間は3年間で、また、延長も可能です。許可に際しては、下部の農地における営農の適切な継続が確保され、作物の発育等に支障がないことが条件となります。また、許可後は毎年、下部の農地において生産された農作物に係る状況報告が義務付けられています。詳しくは、農業委員会事務局までご相談ください。

常総署に要望書を提出

農委倉持会長・倉金代理 常総警察署にて

平成25年3月14日、常総警察署生活安全課の藤澤課長に、トラクター等盗難事件取締強化に関する要望書を手渡ししました。

要望書は2月27日の農業委員の総会にて協議決定されたもので、内容は今年に入り県西地区でのトラクター等の盗難が多発しているため、日々の防犯パトロールの強化等を依頼したものです。

また、平成25年3月27日には藤澤課長を講師に迎え、防犯対策や、自己防衛策などの講話を受けました。



平成24年 賃借料情報

平成24年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10aあたり）は、次のとおりとなっております。

1 田(水稲)の部

(平成25年4月1日公表)

Table with 5 columns: 締結(公告)された地域名, 平均額(円), 最高額(円), 最低額(円), データ数(件). Rows include 旧水海道市 (基盤整備地域, 未整備地域), 旧石下町 (基盤整備地域, 未整備地域), and (参考) 常総市平均.

2 畑(普通畑)の部

Table with 5 columns: 締結(公告)された地域名, 平均額(円), 最高額(円), 最低額(円), データ数(件). Rows include 旧水海道市全域, 旧石下町全域, and (参考) 常総市平均.

- \*1 この情報は、農地法第52条の規定により、賃借料の目安として提供するものです。
\*2 この情報は、平成24年中に実際に締結された賃貸借契約の賃借料データを集計したものです。
\*3 基盤整備地域とは、土地改良などにより圃場整備が完了している地域です。
\*4 データ数は、集計に用いた筆数です。
\*5 賃借料を物納支給（水稲）としている場合は、60kg当たり11,000円に換算しています。
\*6 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。
\*7 「(参考) 常総市平均」の平均額は、各区分の平均値（四捨五入前）をデータ数により加重平均した値です。

**農業者年金に加入しましょう**  
 .....  
 年金加入で、農業経営と安心して豊かな老後生活がっちりサポートしましょう

加入資格は20歳以上の60歳未満の方で、国民年金第1号被保険者及び年間60日以上農業に従事している方が対象となります。

農業者年金のメリットですが、配偶者や後継者など家族農業従事者も加入できます。又、意欲ある担い手には保険料助成があります。さらに、

保険料は自由に決められ、税制面でも大きな優遇措置があります。

積立方式の安定した制度で、80歳まで保証付きの終身保険です。

詳しくは、最寄りの農業委員または、農業委員会事務局までご連絡ください。後日ご相談にお伺いいたします。

**農業者年金についての勉強会を開催**

去る4月27日 農業委員会

総会の前に、茨城県農業会議から小泉総務部調査役、岩瀬農業者年金担当を講師に迎え、農業者年金加入推進についての勉強会を開催しました。年金加入についての質問も多数だされ、実りのある勉強会になりました。

これを機会に、農業者年金についてのPRを拡充し、農業委員による戸別訪問等、年金加入推進を進めて参ります



ので、よろしく願います。

**農家訪問**



豊岡地区  
古谷 せつ子さん

今回は、豊岡地区の古谷さんを訪問しました。

古谷さん宅は水稲、大小麦、露地野菜を栽培している認定農家です。

農作業はというと、水稲、麦等の作付、収穫時はご主人が手伝っていただけとのことですが、普段の露地野菜の栽培は古谷さん本人とお嫁さんの千枝さん、お手伝いさんとで対応されているそうです。露地野菜は特にネギに力を入れており、肥料は有機肥料を出来るだけ利用し、農薬も減農薬で栽培しているとのこと。

とです。また、畑は瓦が出来るような土なので、作物に環境は良いとのことですが、以前陸田として使用していたため、底が大変硬くネギの白い部分を長くするのに苦労しているそうです。また、土作りが基本だとも話されていました。

野菜作りは天候に左右されますが少しでも毎回自慢のできるネギを作りたいとのことでした。

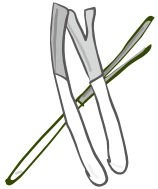
これからも、安心、安全なネギを消費者にお届け出来る様、日々精進したいと話されておりました。

**紹介 農業委員**



古谷 ミチ子 委員

豊岡地区でネギを栽培している古谷さんを、大麦刈の後、小麦の刈取を控えた合間に、ネギの管理作業をしていたところに訪問しました。



**草間委員が任期満了**

今年3月31日草間正詔委員が任期満了のため退任しました。平成8年7月以来6期17年の長年にわたり農業委員として地域農業の振興にご尽力を賜りました。

**大山委員が逝去**

今年1月19日大山榮市委員が逝去されました。平成20年7月以来2期5年にわたり農業委員として地域農業の振興にご尽力を賜りました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**編集後記**

夏本番を迎え猛暑日が続いております。熱中症等、体に気をつけて農作業に励んでください。これからも地域の農家に密着した記事をお届けできるように、編集委員一同頑張っております。

**営農と暮らしに役立つ**



発行日 毎週金曜日

購読料 一月六百元

申込みは農業委員会へ